

組合会館が竣工

「新たな業界団体の要として」

ACTIVE KUMIAI



清め祓いの儀に立ち会う浅野理事長

山梨県建設業協同組合(浅野正一理事長・組合員294名)の組合会館が完成し、10月31日に竣工式が行われた。

新しい組合会館は、これまで組合事務所であった甲府市丸の内1丁目の舞鶴公園南の山梨県建設業協会の所有地に、本年6月初旬に着工、10月末に完成した。

建物は鉄骨造り2階建て、延べ床面積455㎡で、15台の駐車場も備え、山梨県建築設計監理事業協同組合・山梨県コンクリート製品協同組合をはじめ、建設業関連の7団体も入居する。

竣工式には、組合の役員その他に、県庁県土整備部の技監、入居する関係団体の代表者、工事関係者など約30名が出席し、神棚遷座祭及び竣工報告祭などの神事が行われた。

浅野理事長は「組合の設立から50余年が経過し、共同事業に対する積極的な取り組みにより自前の会館を持つことができるに至った。これも組合員の協力と理解によるものだ」と、深く感謝している。今後は、建設関連団体の要として、業界の発展と振興に役立っていきたい。」と挨拶の中で述べた。



完成した新会館